


# 株式会社 オートセンターNAO

令和4年11月現在

カナ	カブシキガイシャオートセンターナオ		カナ	スズキ ヒロフミ	役職	代表取締役
企業名	株式会社オートセンターNAO		代表者名	鈴木 博文		
所在地	〒969-6207	福島県大沼郡会津美里町字宮里 8 0				
TEL/FAX	TEL : 0 2 4 2 - 5 5 - 1 0 5 5	FAX : 0 2 4 2 - 5 5 - 1 0 5 6	HPアドレス	<a href="http://www.acnao.jp/">http://www.acnao.jp/</a>		
業種	自動車解体, 自動車中古部品販売, 自動車リサイクル処理, タイヤ販売, 中古車買取			創業年月	大正 1 3 年 4 月	
資本金	8 2 0 万			従業員数 (男女比)	1 3 名 男女比 ( 1 0 : 3 )	


支店名	工場				
所在地	〒969-6207	福島県大沼郡会津美里町宮里 1 2			
TEL/FAX	TEL : 0 2 4 2 - 8 5 - 6 8 6 8	FAX :	HPアドレス	同上	

沿革	<p>大正 1 3 年 4 月 鈴木ナヲが古物商を開業</p> <p>昭和 3 1 年 1 月 有限会社鈴木ナヲ商店を会津若松市本町に設立</p> <p>昭和 5 0 年 5 月 古物商許可証取得</p> <p>平成 1 0 年 4 月 大沼郡会津美里町字宮里 1 2 に移転</p> <p>平成 1 1 年 1 0 月 N G P 日本自動車リサイクル事業協同組合に入会し、自動車中古部品を生産、販売する</p> <p>平成 1 3 年 6 月 有限会社オートセンターナヲに商号変更</p> <p>平成 1 8 年 5 月 株式会社オートセンター N A O に商号変更</p> <p>平成 2 1 年 7 月 大沼郡会津美里町字宮里 8 0 に南店開業</p> <p>平成 2 8 年 1 0 月 ISO 認証取得 [14001/9001/27001]</p> <p>令和 3 年 5 月 代表取締役鈴木博文 就任</p> <p>本社所在地を会津美里町字宮里 8 0 に変更</p> <p>工場所在地を会津美里町字宮里 1 2 に変更</p>	
----	---	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車解体業務全般</li> <li>・使用済み自動車収集運搬、適正処理</li> <li>・自動車リサイクル部品生産・販売</li> <li>・自動車リビルトパーツ販売</li> <li>・リボーン・カーリース</li> </ul>	    
------	---	--

主な取引先	各自動車メーカーディーラー / 各自動車钣金塗装工場 / N G P 日本自動車リサイクル事業協同組合 / 廃車ドットコム合同会社 ほか
-------	--

自社PR	<p>私たちは、自動車リサイクル事業を通して、地球環境保護に貢献し、それを守るために「使用済み自動車の適正処理」に取り組んでいます。</p> <p>また、日本最大のリサイクルパーツ販売ネットワークである、「NGP」の組合員として、日本全国 2 0 0 拠点からリサイクルパーツをお客様にお届けしていますが、リサイクルパーツとして生まれ変わった自動車部品をお客様に喜んで使用していただけるよう、社員一丸となって品質維持・向上を日々目指しています。</p> <p>1ヵ月から借りられるカーリースをスタート！ “クルマを持つ”から“クルマを賢く使う”をキーワードに生まれたカーライフのスタイルです。</p> <p>勤務時間は、8 : 30 ~ 17 : 30</p> <p>基本的に残業はありませんので、プライベート時間も充実します。</p>
------	--

はたらく先輩からのメッセージ	 <p>フロント主任 佐藤 剛 (2002年入社)</p> <p>仕事に対してみんな真面目ですが、和気あいあいと笑顔が絶えない会社です。</p> <p>毎年恒例で、年賀状には当社ならではのご挨拶をお得意様にしています。</p> <p>さあ、あなたも私たちと一緒に働きませんか？会社見学はいつでもOKです！</p>
----------------	---

代表者メッセージ

自動車が誕生した最初は蒸気自動車、そしてガソリンエンジンが発明され、現在はハイブリット車や究極のエコカーといわれる F C V が走っています。  
時代とともに生活の必需品となった自動車ですが、役目を終えた自動車を廃棄物ではなく、使用済み自動車適正処理及び再生資源として活かされたリサイクル部品を  
生産し、販売しています。リサイクル部品は、新たなエネルギーを使用せず、使える部品を再利用するので、最も環境負荷の少ない方法だといえます。  
そして、車の外見だけではなく、解体する面白さも魅力の一つです。

代表取締役 鈴木 博文